

保健所の職員がその納屋に近づくと、ワンワンと声が聞こえてきました。子育て中のお母さん犬が、子どもを守るために、警戒して鳴いているのです。

職員がそっと近づき、お母さん犬におやつを与えると、お腹が空いていたのか、パクパクと食べ、もっと頂戴！と鼻を鳴らしました。

お母さん犬と子犬がいた地域は、野良犬が多く、エサやりをする人が多い地域です。

地域の人が言うには、お母さん犬はこのあたりで生まれた野良犬で、近所の人を飼っていたそうです。

その方が、亡くなり、残されたお母さん犬は首輪が外れて放浪犬となってしまったそうです。お母さん犬は地域でエサをもらっており、今回で3回目の出産をしたということでした。

子犬が産まれる度に、地域の人達で飼ってきたけれど、これ以上は難しくなってしまったので、保健所に引き取って欲しいということでした。

お母さん犬は子犬の授乳中、殆ど動くことなく、生後3日目の子犬と共に保健所に収容されました。

